

観音寺市の商店街を  
日常的に必要な場所に  
～児童虐待問題との同時改善に向けて～

銭形T (香川県立観音寺第一高等学校 理数科2年) 高岡 星里

この写真を見てどう思いますか？



# 地元の商店街である観音寺市の商店街の現状

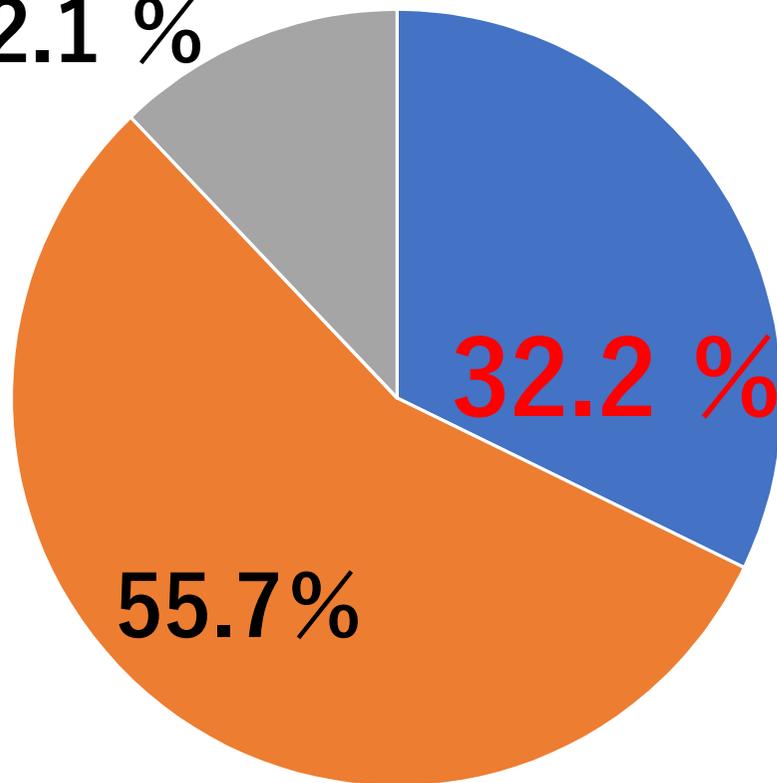
## 商店街を実際に見て回って

- 中年からお年寄りを対象としたお店が多い。
- お店のない場所が目立つ。
- 検索しても簡単にはマップが出てこず、  
どこが商店街か分かりにくい。
- 子どもが少ない。
- 人通りが少ない。



# 観音寺市の年齢別人口割合

12.1 %



■ 65歳以上  
人口割合

■ 15～64歳  
人口割合

■ 15歳未満  
人口割合

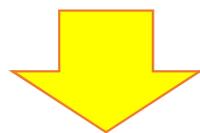
少子高齢化

平成27年度  
n=59,409 人  
e-Stat

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200521&tstat=000001049104&cycle=0&tclass1=000001049105>

また、観音寺市で児童扶養手当をもらっている人は

**534人**



**観音寺市内で子育てに困っている人はたくさんいる！！**

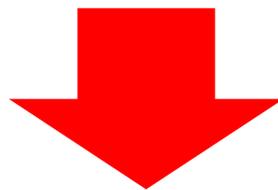
# 動機

以前、児童虐待について調べたとき、子ども食堂を発展させた「**みんなの子ども食堂**」の必要性を感じた。

孤立化を防ぐため  
周囲からの助けが  
必要な母親

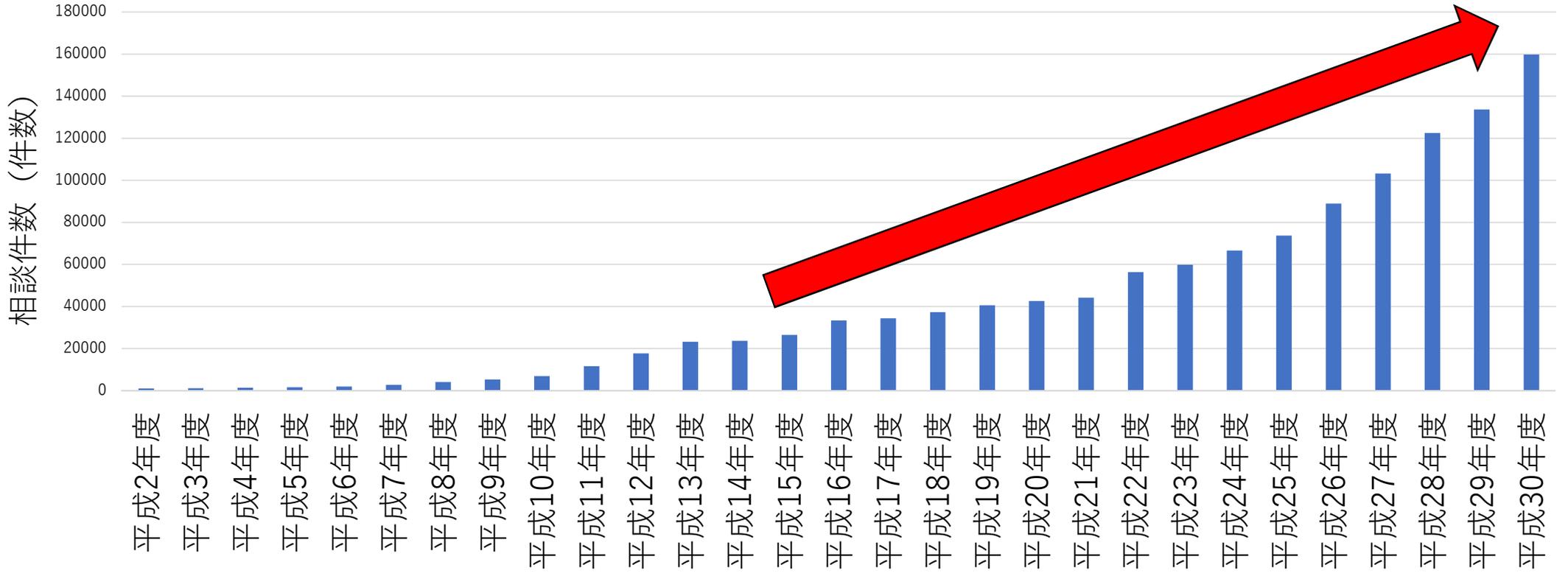
+

人が集う場所に  
したい商店街



児童虐待の発生と  
商店街の衰退化を同時に改善

# 児童虐待の現状

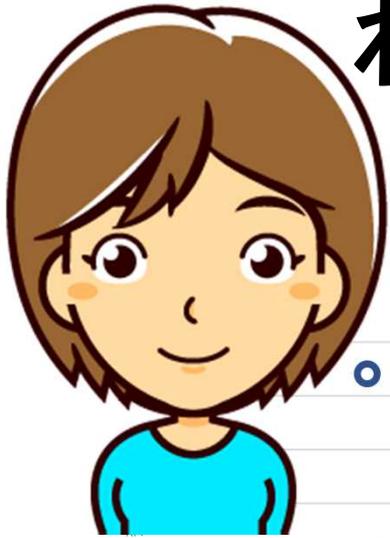


厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/dv16/index.html>

**児童虐待相談件数は、平成2年から平成30年にかけて増加し続けている。**

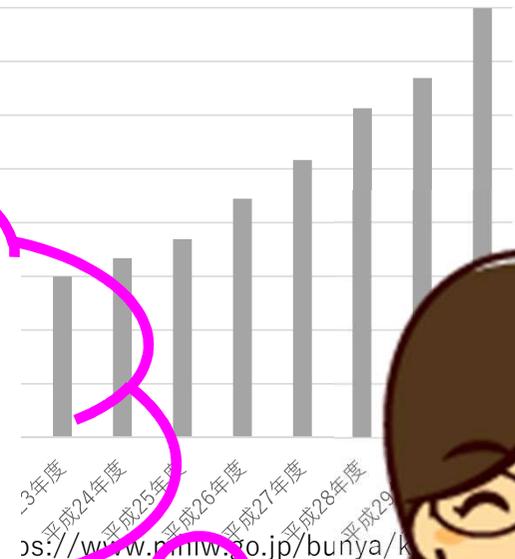
わたし

相談件数って、相談施設の増加や充実などの社会的背景が影響しているのでは？



相談件数  
100000  
80000  
60000  
40000  
20000  
0  
平成22年度

少しはあるかもしれないけど、虐待が増えているのは事実だからこの数値で研究を進めても大丈夫！



3年度  
平成24年度  
平成25年度  
平成26年度  
平成27年度  
平成28年度  
平成29年度  
<https://www.nniw.go.jp/bunya/k>

児童虐待相談件数は、平成2年から平成30年にかけて増加し続けている。  
香川県子ども家庭課の山下さん



## 原因

- 親がその両親や地域とのかかわりを持たなくなる孤立化。
- 親の仕事・家事・育児の負担が大きくなった。
- 家庭内で他者の目が少ない。
- 保護者が子育てに悩んでいる。



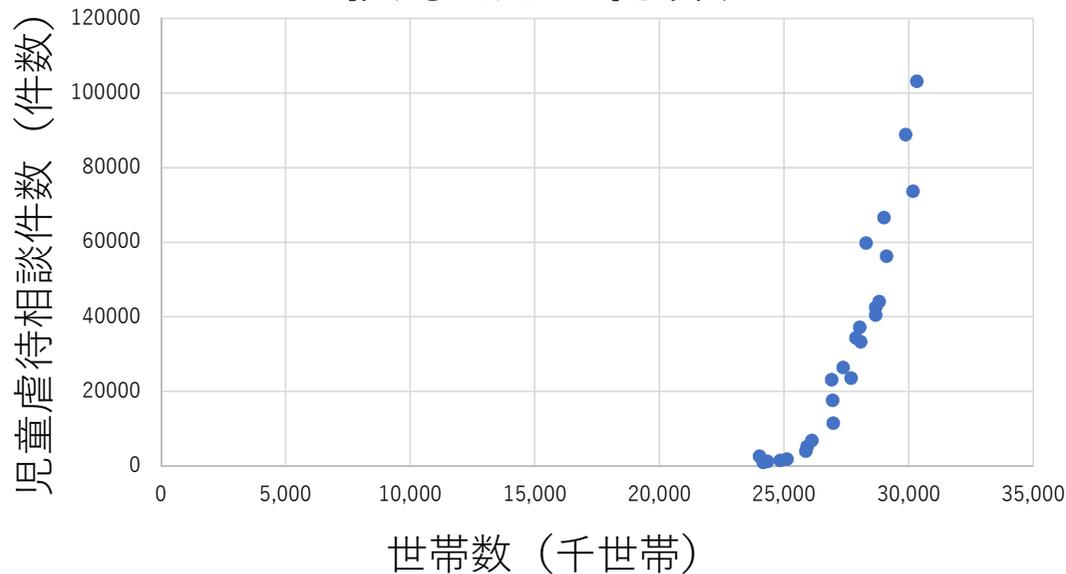
私の家では祖父母の協力を多く受けている。



**世帯の種類と関係があるのでは？**

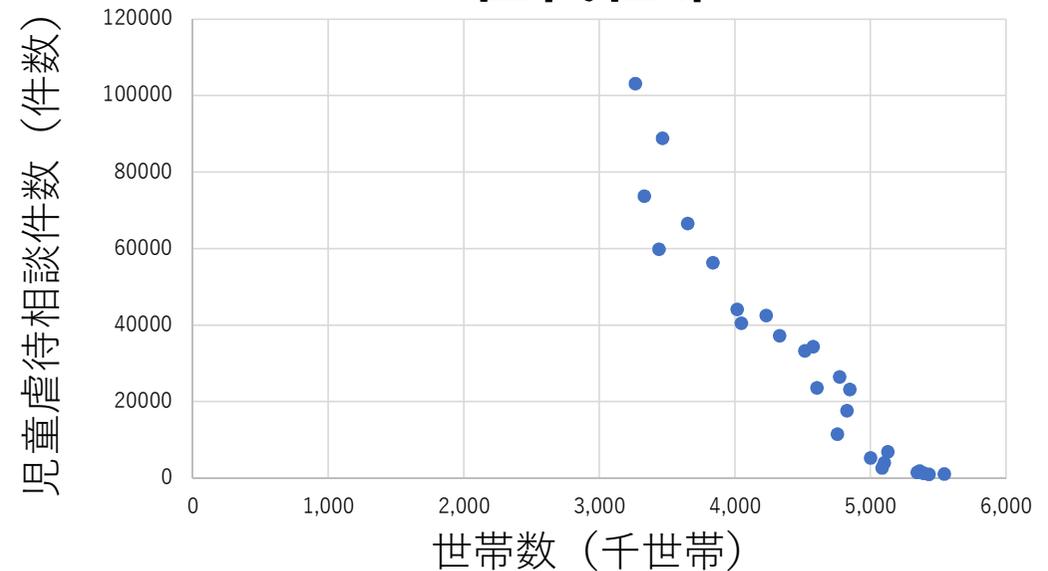
# 世帯の種類と児童虐待の関係

## 核家族の総数



相関係数 **0.915**

## 三世帯世帯

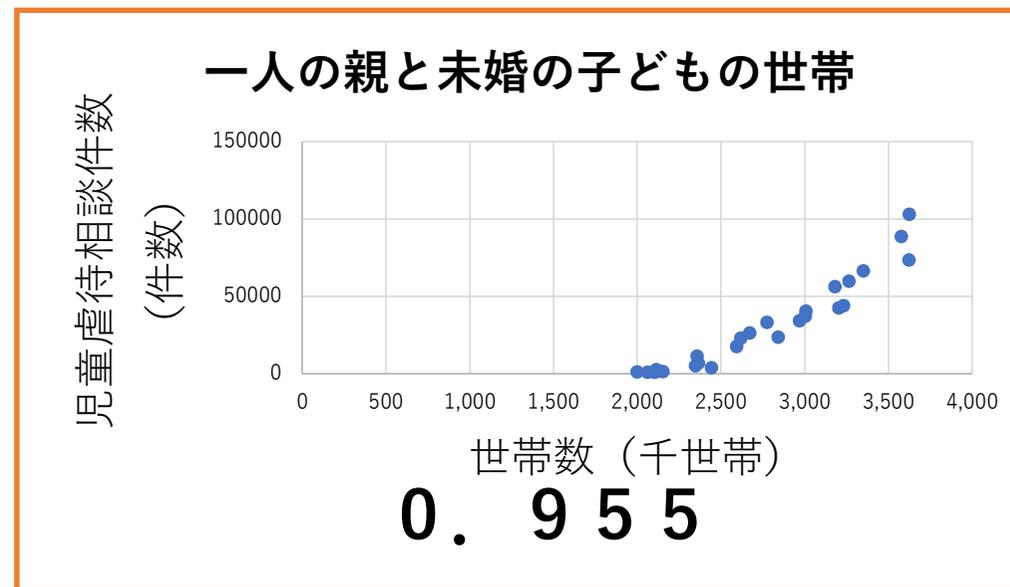
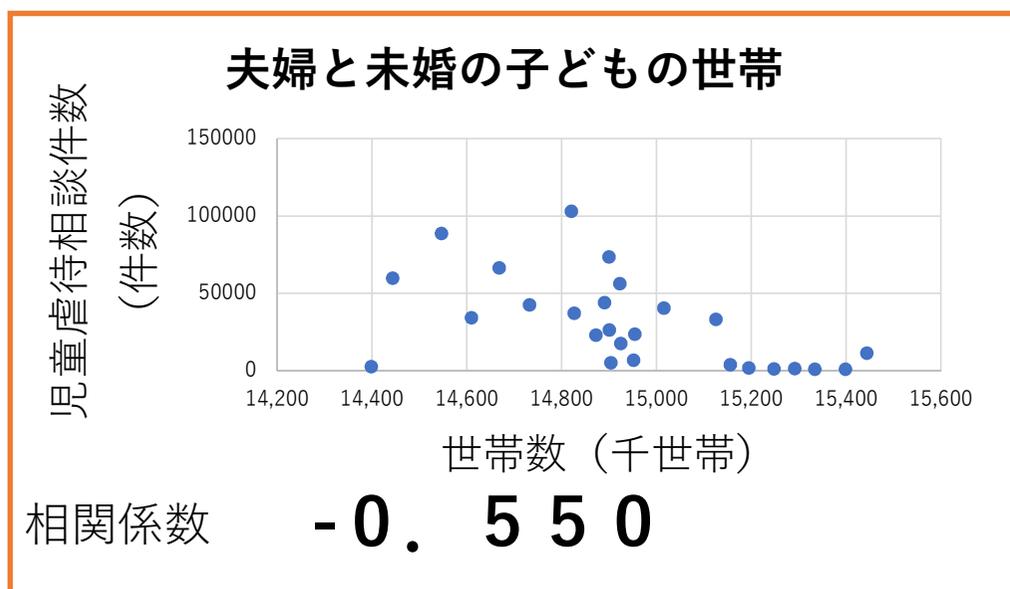


相関係数 **-0.962**

**核家族の推移と虐待の増加に関係がありそうだ！**

e-Stat 国民生活基礎調査 <https://www.e-stat.go.jp/>  
厚生労働省  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/dv16/index.html>

核家族の中でも家族構成についてさらに詳しく調べてみると…



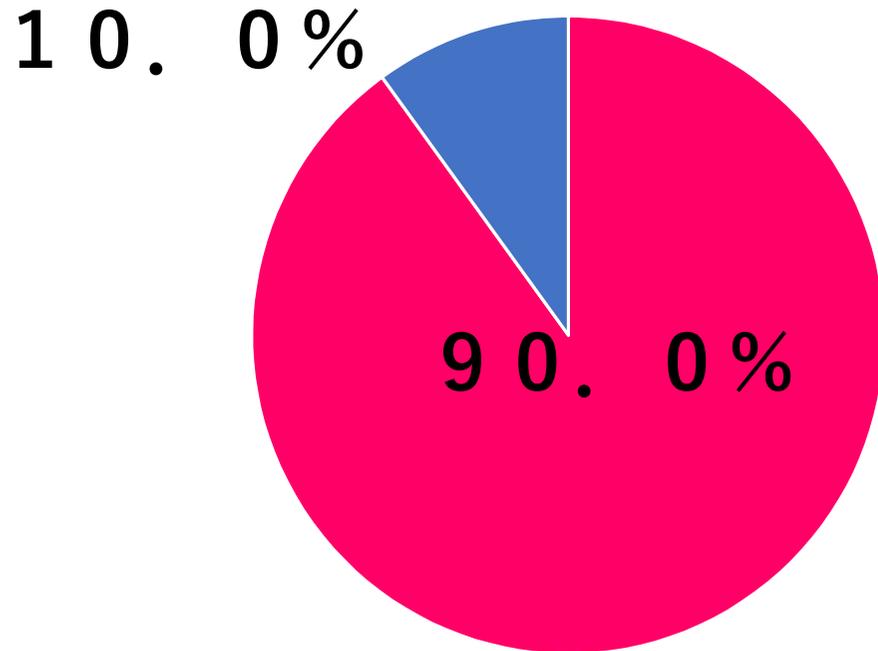
e-Stat 国民生活基礎調査 <https://www.e-stat.go.jp/>  
厚生労働省  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/dv16/index.html>

(平成2年から平成30年) について

**一人の親と未婚の子どもの世帯と児童虐待相談件数の相関は、核家族の総数と世帯数の相関よりも強かった。**

# 一人の親は母親と父親のどちらが多いのか？

親が一人の世帯の母親と父親の割合



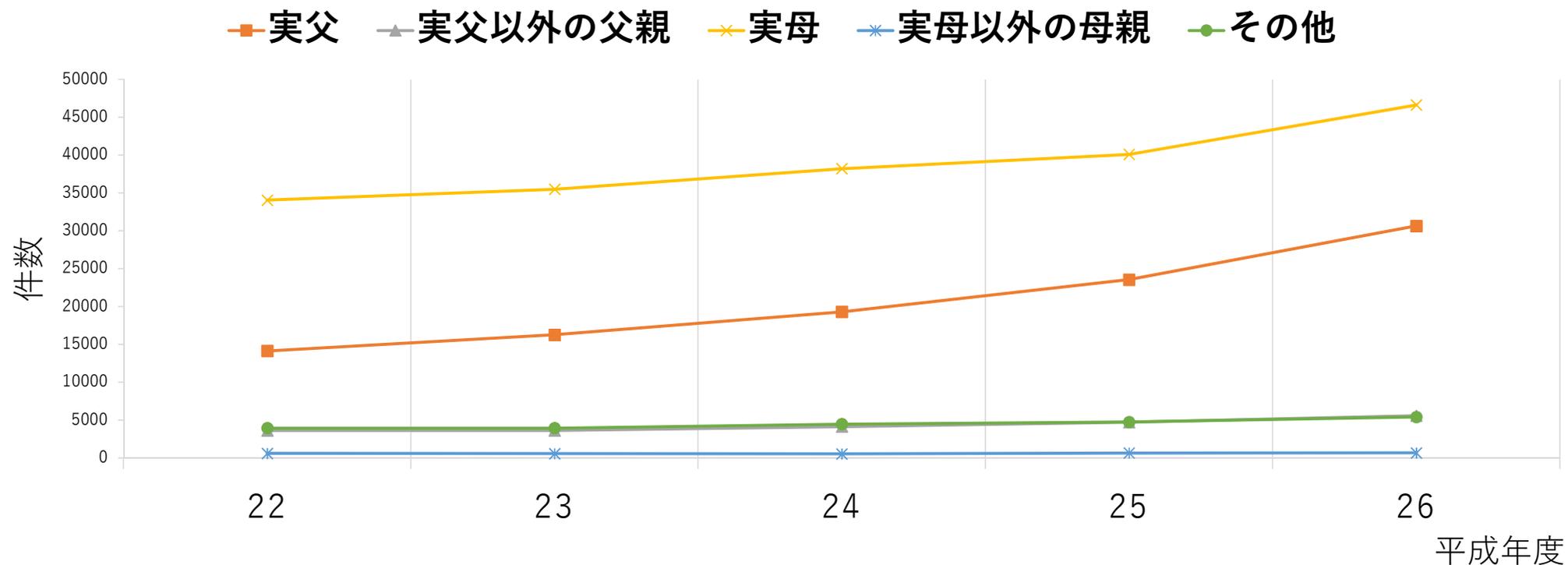
■ 母子家庭 ■ 父子家庭

母親が一人の場合の方が多い。

n=838727世帯  
平成27年度

ひとり親家庭状況  
<http://hoikushshisakurako.livedoor.blog/hitorioya.pdf>

# 児童虐待の加害者についても調べてみると

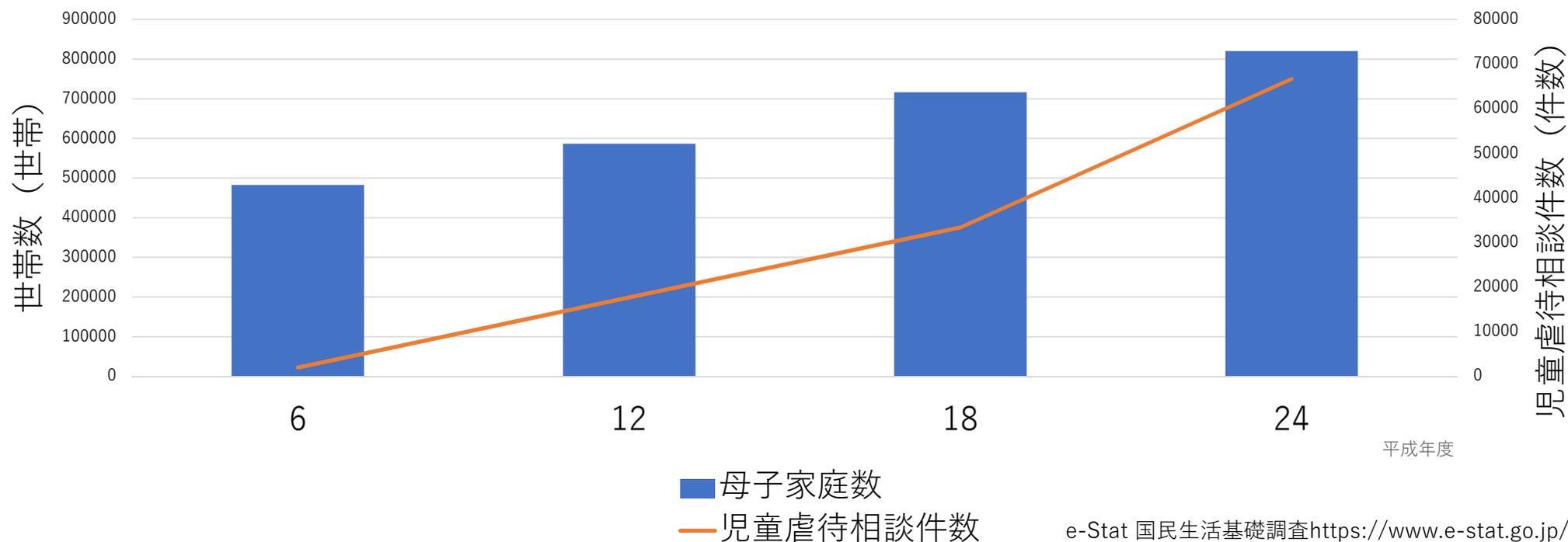


だいたい分かる 日本の子ども虐待  
<https://www.daitaigyakutai.com/entry/2017/02/20/234755>

実母が最も多く増加し続けている。

**シングルマザーの世帯が虐待と大きく関わっているのではないか？**

## 母親と未婚の子供だけの世帯



相関係数は **0.975** となり、核家族の総数や一人の親と未婚の子どもの世帯のときよりもさらに強い関係があることが分かった。

**➡ 母子家庭の母親に対する対策が必要**

この結果をもとに伺った  
香川県子ども家庭課の山下さんのお話

母子家庭が虐待につながる原因には、  
貧困、家族や近所等の人の目がないこと、  
子育てと家計を一人で支えることに対するストレス、  
母親にとって相談機関に頼るのは多忙な生活の中で時間的にも  
心理的にも負担が大きいこと、などが考えられる。  
母親のより身近なところに相談できるような環境を作ることが  
大切である。

この記事によると、

「母親が、子育てによるストレスによって抑うつ傾向が大きくなると、脳の『相手の気持ちを読み取る能力』の活動が低下し、家族や地域の人たちに子育ての相談をしたり、互いに協力しあったりしづらくなるおそれがある。」



そうなる前に

・ 早めの気づき、早めの対応（治療）

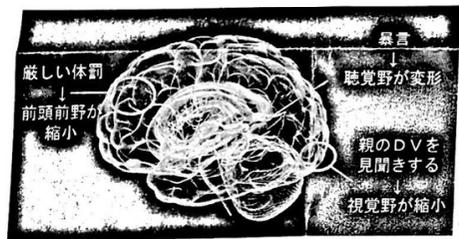
日本経済新聞2019年11月4日付朝刊

（福井大学友田教授の研究）

親が子育てに時に必要とするような働きや事件相次いでいる。子どもの成長は、子育ての進むにつれて多岐にわたる。早期の発見と治療は、子育ての負担を軽減する上で重要な役割を果たしている。...

### 虐待に潜む親の「心の病」

子育てに追われ孤立、早めの治療を



虐待が子どもの脳に及ぼす影響—福井大・友田教授提供

■ ストレスが脳に影響

■ 精神疾患もリスクに

母親が子育てによるストレスで抑うつ傾向が強くなると、脳の『相手の気持ちを読み取る能力』の活動が低下し、家族や地域の人たちに子育ての相談をしたり、互いに協力しあったりしづらくなるおそれがある。...

### 減らせる「世代間連鎖」

幼年期に虐待を受けるとトラウマとなり、自分の子どもにも同じように虐待するケースは「虐待の世代間連鎖」と呼ばれ、よく知られている。海外の調査で、虐待を受けたとある親の約分の1が自分の子どもを虐待するとの報告がある。一方、子どもに対する虐待も、ほらうきが大変。

もあつてはないかと金井センア長はみ。これまでで、母による虐待が多かったのは責任負担に偏っていたのが主な理由に働いてきた。男性が育児参加するにつれて、父親による虐待も減るのかもしれない。...

医療・健康面の記事やコラムに関するご意見、情報を募集しています。ファックス (03・6256・2770) か電子メール (iryoud@nex.nikkei.co.jp) でお寄せください。

医療健康

## 提案

- ・ 商店街に子ども食堂の発展型 **「みんなの子ども食堂」** をつくる

### 子ども食堂とは、

フードバンクから安く仕入れた材料で、お年寄りがご飯を作って、子どもたちを出迎え無料～300円くらいの価格で振る舞うシステム

### メリット

- ・ 親が子どものご飯を作る手間がなくなり、安く済ませることができること。
- ・ お年寄りが子どもから元気もらえること。
- ・ 母親が自分のために使える時間が増える。

**「みんなの子ども食堂」** のシステムについて（私のアイデア）

**子どもと地域のお年寄りが集まって  
一緒に夜ご飯を子供の母親の分まで作る。**

# ★「みんなの子ども食堂」加わるメリット★

## 母親側

- 子どもたちとお年寄りとの交流が深まり、母親とお年寄りの話題が増え、経験豊富な方々とのつながりができる。
- 自分のご飯を作る手間がなくなる。
- 子どもたちが自分でできることが増える。  
(働く母親のために家で食事を作れるようになる。)
- 虐待の早期発見

## 商店街側

- 人が集まる。
- 若い世代が商店街を利用するようになる。
- お年寄りの活躍の場となる。

母親の自然な相談場所となりやすいのでいいね！

香川県子ども家庭課の山下さんからコメントをいただきました！

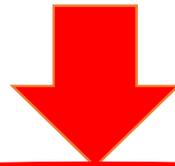
◆子どもや母親に商店街をより利用してもらうために

★周辺に駄菓子屋や古着屋

★フリーマーケットの開催

これによって…

- 商店街が子どもにとって行きたい場所となる。
- 貧困に苦しむシングルマザーの経済的負担の軽減になる。



**商店街が日常的に必要な場所になる**

→人が集まる。

⇒商店街の活性化！

# 「みんなの子ども食堂」周辺のお店どこに作るべき？

## 観音寺市商工会議所の方のお話から

一階に今は営業していないお店、二階を住まいとしている建物が多く、その一階部分を借りてお店を出している人がいる。

新しい建物を建てなくても新しいことを始めることができる！！



★商店街の中心に市営の  
ハイスタッフホール！！（市民会館）

## ◆提案

# 「みんなの子ども食堂」を作る

## 効果

- 商店街に人が集まる→**集客**
- **世代を超えた交流の場**
- 子育てしやすい場所になる
- 高齢者等の活躍→**孤独化の軽減・元気になる**
- ハイスタッフホールを中心とした商店街の展開に繋がる  
→**集客の効率化**

「商店街を日常的に必要な場所に  
継続的ににぎわう商店街への第一歩

# 参考文献

- e-Stat 国民生活基礎調査 <https://www.e-stat.go.jp/>
- 育児ログ <https://ikuji-log.net/entry/number-of-child-abuse>
- だいたい分かる 日本の子ども虐待  
<https://www.daitaigyakutai.com/entry/2017/02/20/234755>
- ひとり親家庭状況 <http://hoikushshisakurako.livedoor.blog/hitorioya.pdf>
- 厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/dv16/index.html>
- 観音寺市商店街  
<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/monozukuri300sha/shoutengai30/2014/S23.pdf>
- 社会保障
- <https://www.city.kanonji.kagawa.jp/uploaded/attachment/13567.pdf>

# 謝辞

香川県健康福祉部子ども家庭課 山下様  
美作大学 武田英樹様  
観音寺市商工会議所様

ご指導くださった  
石井裕基先生  
豊島了子先生

**本当にありがとうございました！！**